

CA Product Vision

導入ガイド

Summer 2012



このドキュメント(組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」)は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社(以下「CA」)により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複製、譲渡、開示、変更、複製することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを適切な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2012 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CA Technologies 製品リファレンス

このドキュメント セットは、以下の CA Technologies ブランドおよび製品を参照します。

- Agile Vision™
- Product Vision
- CA Clarity PPM
- CA Software Change Manager

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: 概要	7
概要	7
Product Vision および CA Clarity PPM	7
Product Vision へのログイン	8
Salesforce.com でのユーザの追加	9
第 2 章: 開始するためのベスト プラクティス	11
要件データの入力方法	11
第 3 章: クイック ツアー	13
Product Vision メニュー	13
管理メニュー	14
ページ機能	14
ナビゲーションリンク	15
オブジェクトの検索	16
第 4 章: リスト ページ	17
リスト ページの表示と編集	17
リスト ページ フィールドの編集	18
詳細ページ	19
ルールの編集	19
リスト ページ情報のグループ化とソート	20
リスト ページの列の設定	21
リスト ページ フィルタ	21
リスト ページ フィルタの管理	22
第 5 章: ソースとペルソナ	23
ソース	23
ソースの管理	24
ペルソナ	24

ペルソナの管理	24
第 6 章: 製品セットアップ	27
製品	27
製品の管理	27
第 7 章: リリース	29
製品リリースの管理	29
要件	31
要件の管理	32
要件リストの表示および管理	32
チャートとレポートを使用した要件の追跡	34
第 8 章: 機能	37
フィーチャーの管理	37
第 9 章: 製品ロードマップ	39
ロードマップ ナビゲーション	39
第 10 章: Chatter	41
フォローのオン/オフ切り替え	41
別のタイプの Chatter 情報を表示する方法	42
フォローするすべてのアイテムの Chatter を表示します。	42
アイテムの Chatter アクティビティの表示	43
付録 A: 用語集	45

第 1 章: 概要

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[概要 \(P. 7\)](#)

[Product Vision および CA Clarity PPM \(P. 7\)](#)

[Product Vision へのログイン \(P. 8\)](#)

[Salesforce.com でのユーザの追加 \(P. 9\)](#)

概要

Product Vision では、プロジェクト、サービス、製品、リリース、およびフィーチャーの要件を管理できます。Product Vision を使用すると、その元の要求者から製品の特定フィーチャーまたはリリースへの包含まで、要件を追跡できます。要件とその利点、要件のソース、競合他社、およびランク情報に関する詳細情報を含めることができます。このような種類の情報を要件に関連付けることで、特定の要件を製品リリースに含めるかどうかの判断に役立ちます。

また要件は、スクラム方法から Agile Vision™ ユーザストーリーに関連付けることができ、任意のスプリントに対するユーザストーリーの履歴を追跡することができます。ユーザストーリーに関連付けられている要件、および要件を要求したソースを参照できます。

Product Vision および CA Clarity PPM

Product Vision が CA Clarity PPM と統合されている場合は、以下のタスクを実行できます。

- ロール階層を CA Clarity PPM から Product Vision にダウンロードできます。
- CA Clarity PPM で Product Vision の要件を CA Clarity PPM のタスクにリンクできます。

Product Vision および CA Clarity PPM の適切な権限を持つ管理者が、これらのタスクを実行します。

統合の完了時、要件とタスクがリンクされます。その後、CA Clarity PPM からコストおよび工数情報を参照できます。以下の情報が用意されています。

- 計画コスト
- 実際コスト
- 計画コスト vs 実際コスト
- 計画工数
- 実工数
- 残存工数
- 計画工数 vs 実際工数

注: Product Vision と CA Clarity PPM の併用の詳細については、「[統合ガイド](#)」を参照してください。

Product Vision へのログイン

すべての新規 CA Product Vision ユーザには、ユーザ名と一時的なログインパスワードが与えられます。ユーザの便宜を図るため、チェックボックスを設定して、CA Product Vision の[ユーザ名]フィールドにログインユーザ名が自動的に入力されるようにすることができます。ユーザ名とパスワードは、通常 salesforce.com から電子メールで送信されます。

次の手順に従ってください:

1. 以下の URL に移動します。
`https://cavision.cloudforce.com`
2. ユーザー名とパスワードを入力して、[Login]をクリックします。

CA Product Vision への初回ログイン時に、すぐにパスワードを変更するように要求されます。

Salesforce.com でのユーザの追加

ユーザが利用できるユーザ プロファイルは、Salesforce のライセンスに含まれています。

注: ユーザ プロファイルの詳細については、「[管理ガイド](#)」のアクセス権に関する付録を参照してください。

システム管理者のみが、Salesforce.com にユーザを追加できます。

次の手順に従ってください:

1. [Setup] をクリックします。
2. 左ペインの [Administration Setup] から、[Manage Users] をクリックします。
3. [Add] をクリックするか、ユーザを編集して、ユーザ割り当てを設定します。
[User] 一覧ページが表示されます。
4. [New] をクリックします。
5. 要求されたフィールドに情報を入力します。
6. 変更を保存します。

注: Salesforce.com でのユーザの設定に関する情報については、このページのヘルプをクリックしてください。

第2章：開始するためのベストプラクティス

このセクションでは、Product Vision の使用を開始するためのベストプラクティスについて説明します。

要件データの入力方法

ユーザが CA Product Vision に不慣れな場合、以下のプロセスで、要件データのを開始する最適な方法について説明します。

1. 最初に使用するソースおよびペルソナを作成します。

ソースおよびペルソナによって、製品要件の起源および要件の完了を誰が待機しているかに関するナレッジが提供されます。製品やリリースなどのコンポーネントが作成されたら、このような基本情報をコンポーネントに関連付けて、トレーサビリティとコンテキストを提供することができます。要件または製品に対して、いつでもソースまたはペルソナを作成できます。作成された情報は、他のコンポーネントの作成時に選択して使用できるため、余分なクリック回数や作業の繰り返しを減らすことができます。

2. 製品を作成します。

Product Vision の主要な目的の1つは製品要件の管理です。製品を作成し、その製品の要件を追跡することができます。ユーザは、コスト、オーナー、ペルソナ、顧客、市場区分、競合製品、長所、短所、案件に関する情報を提供できます。Product Vision で製品をセットアップすると、履歴が提供されます。この履歴には、完了するために選択された要件に影響を及ぼす理由が表示されます。

3. リリースを作成します。

リリースが関連付けできる製品は1つのみです。このリリースを使用すると、製品に関係付けられている要件を、明確な納期がある工数に編成することができます。リリースには通常、多数の要件またはフィーチャーの履行などが含まれます。

4. フィーチャーを作成します。

フィーチャーはスタンドアロンである可能性があり、製品の1つ以上のリリースをカバーします。

5. 要件を作成し、それらを必要な製品、リリースまたはフィーチャーに関連付けます。

第 3 章: クイック ツアー

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Product Vision メニュー](#) (P. 13)

[管理メニュー](#) (P. 14)

[ページ機能](#) (P. 14)

[オブジェクトの検索](#) (P. 15)

[リスト ページ](#) (P. 17)

[リスト ページフィルタ](#) (P. 21)

Product Vision **メニュー**

[Product Vision]メニューを使用して、製品の要件のすべての局面を管理できるページにアクセスします。

以下のメニュー セクションが[Product Vision]メニューに表示されます。

概要

[概要]メニューの選択項目を使用して、他のユーザから Chatter への通信を表示したり、インボックス内の Idea Vision からのアイデアを表示します。

ビジネス計画

[ビジネス計画]メニュー の選択項目を使用して、ソースとペルソナをセットアップし、要件の元の要求者まで要件を追跡することができます。また、このセクションから製品ロードマップにアクセスすることもできます。このメニュー セクションの内容に関してセキュリティ設定は利用できません。Product Vision のすべてのユーザが、ここにある内容を表示、編集できます。

計画の詳細

[計画の詳細]メニュー セクションにあるセクションを使用して、製品、リリース、フィーチャーおよび要件をセットアップします。ロール ベースのセキュリティによって、このメニュー セクションにある項目 へのアクセスを制御します。

管理メニュー

[管理]メニューによって、製品管理ページを以下のメニュー セクションに分類します。

組織

[組織]メニュー セクションの選択項目を使用して、ユーザとロールをセットアップします。

アプリケーション

[アプリケーション]メニュー セクションの選択項目を使用して、マスターリリース、製品、およびリリースをセットアップします。[管理]メニューの製品およびリリースのリンク、または[Product Vision]メニューの[計画の詳細]メニュー セクションを使用できます。

設定

[設定]メニューの選択項目を使用して、以下を管理します。

- プロパティ表示
- リストビューの発行
- カスタム属性
- グローバル設定
- ステータス マッピング

ページ機能

[Agile Vision]および[Product Vision]ページには、製品をより簡単にセットアップし管理するのに役立つ多くの便利な機能があります。

ナビゲーションリンク

ユーザは、ほぼすべての **Product Vision** ページからほとんどのページに移動できます。

- [すべてのレコード]ビューが表示されたリスト ページでは、[アクション]列に[編集]または[表示]アクションが表示されます。
 - [編集]をクリックすると、現在表示されているリスト ページから項目の編集ページに移動します。
 - [表示]をクリックすると、詳細ページに移動します。

リスト ページのアイテム(製品や要件など)の作成者に対しては、両方のリンクが表示されます。アイテムを作成しなかった場合、それを編集する権限がありません。表示アクションのみが[アクション]列に表示されます。

- リスト ページの階層ビューでは、項目の名前が下線付きのテキストとして表示されます。これらのリンクのいずれかをクリックすると、それぞれの詳細ページに移動します。
- メイン メニューの以外のページで、ヘッダ上の[リストに戻る]ボタンをクリックすると、前のページに移動します。

ホーム ページに移動するか、または任意のページからカスタム ホーム ページを指定できます。[ホーム]アイコンは[検索]フィールドの横にあります。

以下のオプションを表示するには、アイコンの上にマウスを移動します。

- ホーム ページに移動
- 現在のページをホーム ページに設定

ホーム ページを既定ホーム ページにリセットします。

オブジェクトの検索

アクセス権に基づいて、製品のオブジェクト(製品、フィーチャー、リリース、ソース、ペルソナなど)を検索できます。システム管理者は、すべての製品のオブジェクトを検索できます。検索オプションは、ワークスペースの右上で利用可能です。

注: 新しく作成された項目に検索用のインデックスを付けるときに、若干の遅延が発生することがあります。新しい項目が検索結果に表示されるまでには、最大で数分かかることがあります。

第 4 章: リスト ページ

[Product Vision] ページには、製品をより簡単にセットアップし管理するのに役立つ多くの便利な機能があります。リスト ページに表示されるレコード番号の設定は、ブラウザ単位およびユーザ単位で保持されます。別のブラウザで同じリストを表示する場合は、この値を再度設定してください。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[リスト ページの表示と編集 \(P. 17\)](#)

[リスト ページフィールドの編集 \(P. 18\)](#)

[詳細ページ \(P. 19\)](#)

[ルールの編集 \(P. 19\)](#)

[リスト ページ情報のグループ化とソート \(P. 20\)](#)

[リスト ページの列の設定 \(P. 21\)](#)

リスト ページの表示と編集

リスト ページを表示するには、[Product Vision] メニューに移動して該当するメニュー項目を選択します。

リスト ページの [アクション] 列に、リスト項目の表示および編集用のリンクが含まれる場合、そのリスト アイテムを変更できます。リンクを使用して、以下の操作を行うことができます。

- **編集。** アイテムの [詳細] ページを開き、アクティブなフィールドのいずれかで値を変更することができます。

- 表示。表示専用モードで、詳細ページを開くことができます。リスト項目の作成者または製品オーナーは、[編集]をクリックしてフィールド値を変更できます。

新規 新規の子 リリースに割り当て フィーチャーに割り当て

アクション	要件 ID	
表示 編集	REQ-000004	1
表示 編集	REQ-000003	
表示	REQ-000002	PTB_ChildSet061
表示	REQ-000001	PTB_Requirement1

[表示]をクリックして、ハイライトされたリスト項目の詳細を表示します。
[編集]をクリックして、詳細を変更します。

[アクション]列に[表示]リンクのみが含まれている場合は、ユーザーに適切な権限がないため、詳細を変更できません。

新規 新規の子 リリースに割り当て フィーチャーに割り当て

アクション	要件 ID	タイトル ▲
表示 編集	REQ-000004	JPN_子_要件1
表示 編集	REQ-000003	
表示	REQ-000002	
表示	REQ-000001	

[アクション]列に[表示]のみが表示されている場合は、コンポーネントの詳細を編集する権限がありません。

ユーザーが適切な権限を持っている場合は、リスト アイテムのオーナーでなくても、表示モードでいくつかのアクションを完了できます。

リスト ページ フィールドの編集

リスト ページ上の多くのフィールドは直接編集できるため、変更するリストアイテムの詳細ページを表示するために何回もクリックせずに済みます。

次の手順に従ってください:

1. リスト ページフィールド内でクリックして、編集を開始します。フィールドが編集可能な場合、そのフィールドはアクティブ化されるので、値を変更することができます。

フィールド値を変更すると、更新された値を示す小さな赤い三角形がフィールドの左上隅に表示されます。

2. 変更を保存します。

値を直接編集できないフィールドには、複数値を持つフィールドなどがあります。複数の値を使用して列フィールドのソートまたはグループ化を実行すると、列フィールドの各値についてソートが実行されます。この変更方法では複数のオブジェクトが影響を受けるため、フィールドの値を直接編集できません。

詳細ページ

詳細ページを開くには、リスト ページの[アクション]列の[表示]をクリックします。詳細ページから、以下の 1 つ以上のアクションを実行できます。

- リスト ページ項目のプロパティを読み取り専用状態で表示する。
- 他の **Product Vision**、**Agile Vision** または **Idea Vision** アイテムとの関連を追加する。たとえば、要件の詳細ページから、ユーザストーリー、子要件、およびロールを関連付けることができます。
- **Idea Vision** からインボックス アイテムをリンクする。
- メモの追加またはファイルの添付。
- [編集] ボタンをクリックして、表示している項目のプロパティを編集する。

関連付け用のリスト セクションが詳細ページに表示されます。各セクションを折りたたんだり、展開したりできます。[詳細] ページのセクションを展開するか折りたたむと、再オープン時に最後の表示状態が記憶されています。

ルールの編集

以下に、リスト ページを編集するための一般的なガイドラインを示します。

- 作成した任意の項目を編集または削除できます。
- 製品オーナーには、製品に関連付けられた任意の要件、リリース、フィーチャー、ソース、またはペルソナを編集する権限があります。

たとえば、ユーザが製品オーナーである場合、その製品に関連付けられた要件を編集できます。ユーザは要件の作成者または関連付けられたオーナーである必要はありません。

- 製品オーナーは、製品に関連付けられた要件、リリース、フィーチャー、ソース、またはペルソナを編集する作成者の権限を削除できます。
- フィーチャーは、製品のオーナーまたは作成者以外のオーナーを持つ場合があります。これらの追加オーナーにも、フィーチャーに関連付けられた任意の要件を編集する権限があります。

リスト ページ情報のグループ化とソート

データがリストテーブル形式で表示される一部のページでは、任意の列でリストを並べ替えることができます。



次の手順に従ってください:

1. カーソルをリストの列見出しに移動します。
2. リストの列見出しのメニュー ボタンをクリックし、以下のいずれかのタスクを実行します。
 - [昇順にソート]または[降順にソート]を選択して、目的の順番で、リスト項目を順序付けます。
 - [このフィールドでグループ化]をクリックして、列内の類似項目をリストにグループ化します。

注: 複数の値を使用して列フィールドのソートまたはグループ化を実行すると、列フィールドの各値についてソートが実行されます。たとえば、要件として複数の製品を含む製品列フィールドをソートすると、各製品ごとにグループ化が行われます。

リスト ページのソートを削除して元のリストに戻すには、[グループ化をクリア]をクリックします。

リスト ページの列の設定

一部のリスト ページでは、表示される列を選択できます。既定の列を削除したり、必要な列を追加したりできます。カスタム フィールド (属性とも呼ばれる) を追加した場合は、カスタム フィールドを適切なリスト ページに列として追加できます。たとえば、要件に関するカスタム フィールドを追加した場合は、それらのカスタム フィールドを[要件]リスト ページに表示できるようになります。

次の手順に従ってください:

1. リスト ページを開き、[設定]をクリックします。
2. リストに含める列を正しい順序で指定します。
3. 変更を保存します。

リスト ページを既定の設定に復元するには、[既定値の復元]をクリックします。

リスト ページ フィルタ

リスト ページではヘッダの下にフィルタがあります。このフィルタを使用して、ページに表示する内容を制御できます。リスト ページで作成されたすべてのフィルタが、選択対象として[フィルタ]ドロップダウンリストに表示されます。リスト ページで現在使用しているフィルタは、[フィルタ]フィールドに表示されます。

フィルタについては以下の点に注意してください。

- フィルタリングすると、リスト ページの選択条件は有効な状態のままになります。リスト ページから離れて戻ってくると、フィルタの選択条件でリストが事前にフィルタリングされます。
- 作成したすべてのフィルタが自動的に保存されます。
- 作成したフィルタは、編集したり削除したりできます。
- リスト ページのフィルタ条件を上書きしてリスト全体を表示するには、[フィルタのクリア]をクリックします。
- フィルタはブラウザごとにセッション間で保存されます。別のブラウザに切り替えた場合は、フィルタを再度選択し、適用してください。

リスト ページ フィルタの管理

リスト ページ フィルタを使用して、ページに表示する内容を制御できます。フィルタについては以下の点に注意してください。

- フィルタリングすると、リスト ページの選択条件は有効な状態のままになります。リスト ページから離れて戻ってくると、フィルタの選択条件でリストが事前にフィルタリングされます。
- 作成したすべてのフィルタが自動的に保存されます。
- フィルタはブラウザごとにセッション間で保存されます。別のブラウザに切り替えた場合は、フィルタを再度選択し、適用してください。
- 複数のフィルタを作成して保存できます。
- リスト ページのフィルタ条件を上書きしてリスト全体を表示するには、[フィルタのクリア]をクリックします。

次の手順に従ってください:

1. フィルタするリスト ページを開きます。
2. [フィルタの追加/編集]をクリックします。
3. [新規フィルタを作成]オプションを選択します。
4. [プロパティ]セクションで、[フィルタ名]フィールドに名前を入力します。
5. フィルタ条件を定義するためにドロップダウンリストで選択を行います。
6. 追加の条件を定義するには、[追加]をクリックします。
7. 完了したら[フィルタ]をクリックします。

定義した条件を使用してリスト ページがフィルタされます。また、フィルタは自動的に保存されます。

注: フィルタを編集または削除するには、[フィルタの追加/編集]をクリックし、[既存のフィルタを表示]を選択して、フィルタを編集するか、[削除]をクリックします。

第 5 章: ソースとペルソナ

ソースは、要件のソースを追跡する場合に便利です。また、ペルソナを使用すると、製品の見込みユーザを記述することができます。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[ソース \(P. 23\)](#)

[ペルソナ \(P. 24\)](#)

ソース

要件のソース用プロファイルを定義できます。ソースによって、要件をその起源までトレースできます。ソースの数、および誰が要件を要求したかを知ることは、どれだけ迅速に要件を見なさなければならないかを判断するのに役立ちます。これは、製品のリリースのためにどの要件を実装するか決定する要因の 1 つです。

ソースによって、どの地理的またはマーケットのセグメントが関わっているかに関する情報が提供されます。Product Vision には、以下のソースタイプが用意されています。

- ビジネスユニット。ビジネスの内部からの要件を識別します。
- 顧客。アクティブなまたは見込み顧客からの要件を識別します。
- 地域。1 つ以上の地勢に固有の要件を識別します。
- 業種。1 つ以上の業種に固有の要件を識別します。

ソース用の追加カスタムフィールド(属性)を定義できます。カスタムフィールドが役に立つのは、既定フィールドがソースの情報の収集と格納に適切でない場合です。カスタムフィールドは、[管理]メニューから追加します。

詳細については、「[管理ガイド](#)」を参照してください。

ソースの管理

ソースを作成して、要件の発信者、または要件が満たされることに関心を寄せている組織を記述します。

次の手順に従ってください:

1. **Product Vision** をクリックし、[ビジネス計画]から、[ソース]をクリックします。
[ソース]リスト ページが表示されます。
2. [新規ソース]をクリックします。
3. 要求されたフィールドに情報を入力します。
4. 変更を保存します。

ソースの作成後、そのソースを編集して、詳細を追加することができます。

注: ソースを編集または削除するには、[ソース]リストからソースを選択し、[編集]または[削除]をクリックします。

ペルソナ

ペルソナは、購入者または製品購入の決定に影響を及ぼす人物を表わす、実在の人物、または人物の集合体です。

ペルソナを要件に関連付けると、要件の完了を期待している人物と、その人物のビジネス モデルと要件の関係に関する詳細情報が提供されます。ペルソナは、ビジネス ニーズ、不満点および購買傾向など、要件が満たす問題に関する情報を提供できます。

ペルソナの管理

ペルソナを作成して、製品の購入に関する決定に影響を及ぼす可能性がある、組織内の特定の人物、または人物の集合体を示します。ペルソナを作成すると、ペルソナの詳細を編集して、完全情報を追加できます。

次の手順に従ってください:

1. **Product Vision** をクリックし、[ビジネス計画]から[ペルソナ]をクリックします。
[ペルソナ]リスト ページが表示されます。

2. [新規ペルソナ]をクリックします。
3. 該当するフィールドに情報を入力します。
4. 変更を保存します。

ペルソナの作成後、ペルソナの詳細を編集することで、より多くの詳細を追加できます。

注: ペルソナを編集または削除するには、[ペルソナ]リストからペルソナを選択し、[編集]または[削除]をクリックします。

第 6 章: 製品セットアップ

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[製品](#) (P. 27)

[リリース](#) (P. 29)

[要件](#) (P. 31)

[機能](#) (P. 37)

[製品ロードマップ](#) (P. 39)

製品

製品作成時に、将来の参照用に製品の詳細図を作成します。財源、顧客、競合製品、地域のマーケットセグメント、業種のマーケットセグメントおよびフィーチャーに関する情報を含めることができます。また、製品の長所、短所、案件、脅威および解決済みの問題などに関する詳細情報を含めることもできます。

製品の管理

製品作成時に、将来の参照用に製品の詳細図を作成します。財源、顧客、競合製品、地域のマーケットセグメント、業種のマーケットセグメントおよびフィーチャーに関する情報を含めることができます。また、製品の長所、短所、案件、脅威および解決済みの問題などに関する詳細情報を含めることもできます。

製品の作成後、製品の詳細を編集して、製品のすべての面に関する完全情報を追加します。

次の手順に従ってください:

1. Product Vision をクリックし、[計画の詳細]から[製品]をクリックします。
[製品]リスト ページが表示されます。
2. [新規製品]をクリックします。
3. 要求されたフィールドに情報を入力します。
4. 変更を保存します。

注: 製品を編集または削除するには、[製品]リストから製品を選択し、[編集]または[削除]をクリックします。

第 7 章: リリース

Product Vision には、以下のリリースタイプがあります。

- 製品リリース

このリリースタイプは、製品の更新または変更を示し、そのため、単一の製品と関連付ける必要があります。Agile Vision も使用している場合は、作成したリリースが Agile Vision にも表示されます。

- マスタリリース

このリリースタイプは、複数の製品とそのリリースに関連付けることができます。製品リリースをマスタリリースに割り当てると、リリース内のすべてのユーザストーリーと要件が自動的にマスタリリースに割り当てられます。

製品がマスタリリースに関連付けられている場合、個々のユーザストーリーまたは要件に関連付けることができます。

注: マスタリリースの詳細(マスタリリースの作成方法を含む)については、「[管理ガイド](#)」を参照してください。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[製品リリースの管理](#) (P. 29)

製品リリースの管理

製品オーナーまたはシステム管理者である場合、製品のリリースを作成できます。

次の手順に従ってください:

1. Product Vision をクリックし、[計画の詳細]から[リリース]をクリックします。
[リリース]リスト ページが表示されます。
2. [新規リリース]をクリックします。

3. 以下のフィールドに入力します。

ターゲットコスト

リリースの合計計画コストが定義されます。この値は **Product Vision** 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。**CA Clarity PPM** および **Product Vision** が統合されている場合、計画コストの情報は **CA Clarity PPM** から取得され、**Product Vision** のフィールドは読み取り専用になります。このフィールドは、直接 **Product Vision** を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

ターゲット工数

リリースの合計計画工数を時間単位で定義します。この値は **Product Vision** 内で入力して編集できる高レベルの見積もりです。**CA Clarity PPM** および **Product Vision** が統合されている場合、計画工数の情報は **CA Clarity PPM** から取得され、**Product Vision** のフィールドは読み取り専用になります。このフィールドは、直接 **Product Vision** を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

4. 変更を保存します。

リリースの作成後、リリースの詳細を編集して、リリースのすべての面に関する完全情報を追加します。

注: 製品リリースを編集または削除するには、[リリース]リストからリリースを選択し、[編集]または[削除]をクリックします。

要件

要件を作成して、製品の必要とされる機能を識別しトラッキングします。

作成する要件は[要件]リスト ページにリスト表示されます。要件をフィルタし並べ替えて、目的の情報のみをリスト表示することができます。作成する要件は[要件]リスト ページにリスト表示されます。要件をフィルタし並べ替えて、目的の情報のみをリスト表示することができます。Product Vision では、以下の方法のいずれかを使用して要件を入力できます。

- [計画の詳細]メニュー上の[要件]リンクをクリックし、[新規要件]をクリックします。
- 製品、ソース、リリース、またはフィーチャーを[表示]モードで開き、[要件]セクションで[新規要件]をクリックします。

要件はバージョン管理され、バージョン番号が付いた、ドラフトまたは承認済みバージョンのいずれかになります。

オブジェクトの詳細ページから、特定の製品、リリース、およびフィーチャーの要件を表示できます。

要件はバージョン管理を使用して、要件のドラフトおよび承認済みバージョンを管理します。要件を作成し保存すると、[ステータス]フィールドは[ドラフト]に変わります。承認済みバージョンの作成方法は、要件変更管理(RCM)が有効になっているかどうかによって異なります。

- RCM が有効な場合、要件オーナーは承認リクエストを製品オーナーへ送信します。製品オーナーは要件ドラフトを承認または拒否します。承認された場合、要件のステータス[承認済み]に変わり、要件のバージョン番号が増分されます。
- RCM が有効になっていない場合、要件オーナーまたは製品オーナーのいずれかが新しい承認済みバージョンを作成できます。ステータスは[承認済み]に変わり、バージョン番号は増分されます。

作成する要件は[要件]リスト ページにリスト表示されます。要件をフィルタし並べ替えて、目的の情報のみをリスト表示することができます。

要件の管理

[要件]ページから要件のドラフトを作成できます。

次の手順に従ってください:

1. [Product Vision]をクリックし、[計画の詳細]から[要件]をクリックします。
[要件]リスト ページが表示されます。
2. [新規]をクリックします。
3. 必須フィールドに情報を入力します。以下のフィールドには説明が必要です。

都道府県

このフィールドはユーザの会社によって定義されます。通常、このフィールドは要件の別々のワークフロー ステージにラベルを付けるために使用されます。

製品

要件が適用される製品(複数可)を指定します。要件に関連付ける複数の製品を選択できます。

4. 変更を保存します。

要件が作成され、ステータスは[ドラフト]として設定されます。

要件の作成後、要件の詳細を編集して、要件のすべての局面に関する完全な情報を追加します。その後、ドラフトの承認を依頼できます。また、要件の承認バージョンを作成することもできます。

注: 要件リスト ページから要件の編集または削除を実行するには、要件リスト ページから[要件の階層]ビューを選択し、要件タイトルのリンクをクリックして[編集]または[削除]をクリックします。

要件リストの表示および管理

[要件]リスト ページでは、3 つのリスト表示オプションを使用できます。

すべてのレコード

このビューから、新規要件を作成したり、個々の要件を表示および編集できます。

要件の階層

[要件]リスト ページの既定ビューです。このビューを使用して、要件間の親子関係を参照および管理し、新規要件を作成します。

トレーサビリティ マトリクス

このビューを使用して、要件に関連付けられたユーザ ストーリーを参照します。また、リンクをクリックして、関連するソースおよびペルソナ情報など要件に関する詳細情報を表示できます。

トレーサビリティ マトリクスの表示

トレーサビリティ マトリクスによって、要件の起源、および **Agile Vision** を通じて要件に関連付けられたユーザ ストーリーを参照できます。

次の手順に従ってください:

1. [Product Vision]をクリックし、[計画の詳細]から[要件]をクリックします。
2. [表示]フィールドで、[トレーサビリティ マトリクス]を選択します。
3. 以下のいずれかのリンクをクリックして、情報を取得します。
 - 要件名をクリックして、要件の詳細情報を参照します。要件には、要件を開始したソースまたはペルソナ、および、製品とリリースの情報が含まれます。
 - ユーザ ストーリー名をクリックして、**Agile Vision** でどのように要件が満たされるかに関する詳細情報を表示します。

フィルタ オプションを使用して、トレーサビリティ マトリクス要件をフィルタできます。[フィルタの追加/編集]をクリックしてフィルタを作成し、条件を指定し、[フィルタ]をクリックして表示をフィルタします。

要件階層の表示

要件階層によって、どの要件が親と子として関連付けられているか素早く識別できます。リストに要件が、親別に順番に表示されます。子は親の下に表示されます。

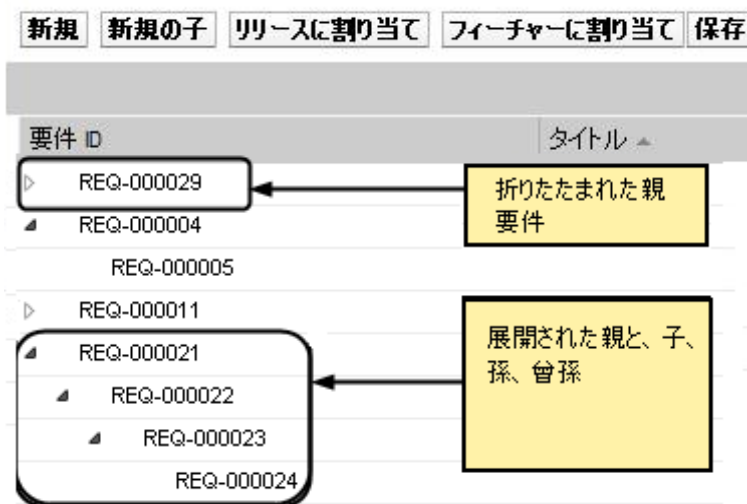
次の手順に従ってください:

1. [Product Vision]をクリックし、[計画の詳細]から[要件]をクリックします。
2. [表示]フィールドで、[要件履歴]を選択します。

このリストから、以下のタスクを実行できます。

- 値を直接更新するにはフィールド内をクリックします。アクティブな状態のフィールドは、値を更新できます。
- 要件を右クリックすると表示されるメニューで、要件を表示、編集、削除、展開または折りたたむことができます。

階層内で作成できるレベルの数に制限はありません。



チャートとレポートを使用した要件の追跡

事前定義済みのチャートおよびレポートを使用して、要件を追跡できます。これらのチャートは [Salesforce.com Vision Public Dashboard](#) で入手可能です。

次の手順に従ってください：

1. Product Vision にログインし、[セットアップ]をクリックします。
2. [ダッシュボード]タブをクリックします。

ダッシュボードが表示されます。Product Vision ダッシュボードが表示されない場合は、ダッシュボードタイトルの下の[ダッシュボードリストに移動]をクリックします。[ビジョンパブリックダッシュボード]が表示されます。

3. [Product Vision ダッシュボード]選択します。

ダッシュボードが以下のチャートと共に表示されます。

- 要件 - 状態棒グラフ
- 要件 - 製品円グラフ

- 要件 - 平均年齢折れ線グラフ
- 要件 - リリース円グラフ
- 要件 - トレンド折れ線グラフ
- 要件 - ソース円グラフ

4. チャートをクリックすると、レポート生成のオプションを表示します。

[次で情報を要約]- [リストの表示]から選択して、レポートの条件を変更することができます。また、時間範囲も指定できます。ダッシュボードの詳細については、ページヘルプを参照してください。

ベストプラクティス: レポートまたはチャートのカスタマイズを予定している場合は、他のユーザへの影響を避けるためにカスタムダッシュボードおよびレポートを作成します。詳細については、Salesforce.com ページヘルプを参照してください。

第 8 章：機能

フィーチャーは、製品機能を説明します。フィーチャーの作成時、そのフィーチャーを単一の製品に関連付けることができます。1 つのフィーチャーを複数の要件にリンクできます。フィーチャー レベルにロールアップされたフィーチャー要件に対して、計画時の情報と実際の情報をできます。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[フィーチャーの管理](#) (P. 37)

フィーチャーの管理

製品の新しい機能を説明するためにフィーチャーを作成できます。

次の手順に従ってください：

1. **Product Vision** をクリックし、[計画の詳細]から[フィーチャー]をクリックします。
[フィーチャー]リスト ページが表示されます。
2. [新規フィーチャー]をクリックします。
3. 以下のフィールドに入力します。

ターゲット コスト

フィーチャーの合計計画コストを定義します。ターゲットコストは **Product Vision** 内で入力および編集が可能な高レベルの見積もりです。**CA Clarity PPM** および **Product Vision** が統合されている場合、計画コストの情報は **CA Clarity PPM** から取得され、**Product Vision** のフィールドは読み取り専用になります。このフィールドは、直接 **Product Vision** を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

ターゲット工数

フィーチャーの合計計画工数を時間単位で定義します。ターゲット工数は **Product Vision** 内で入力および編集が可能な高レベルの見積もりです。**CA Clarity PPM** および **Product Vision** が統合されている場合、計画工数の情報は **CA Clarity PPM** から取得され、**Product Vision** のフィールドは読み取り専用になります。このフィールドは、直接 **Product Vision** を使用して元の概算値を入力し、追跡するための手段です。

4. 変更を保存します。

フィーチャーの作成後、フィーチャーの詳細を編集して、フィーチャーのすべての面に関する完全情報を追加します。

注: フィーチャーを編集または削除するには、[フィーチャー]リスト ページからフィーチャーを選択し、[編集]または[削除]をクリックします。

第 9 章: 製品ロードマップ

製品ロードマップは、製品のリリース タイムラインを表示します。ロードマップは、高レベルビューと、リリースおよび要件へのドリルダウンを持つ、マスタリリースのビューを提供します。月次、四半期ごと、および年次のビューでは、要件とフィーチャーを提供するための短期的、長期的な実装計画を表示します。

ロードマップからは[製品]、[リリース]、および[要件の詳細]ページに簡単にリンクでき、そこからオブジェクトの表示、作成、編集、クローン作成、および削除が可能です。

はじめて製品ロードマップを開いた時は、最初の製品がアルファベット順に表示されます。ドロップダウンリストから製品を選択すると、次にロードマップを開いたときに、前回表示した製品が表示されます。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[ロードマップ ナビゲーション \(P. 39\)](#)

ロードマップ ナビゲーション

ロードマップでは、リリースの計画に役立つ複数のナビゲーションが選択できます。既定のビューでは、製品およびマスタリリースが折りたたまれた状態で表示され、現在の日付から開始します。現在の日付より前の日付にナビゲートすることができます。

ロードマップから、以下のナビゲーションコントロールを使用することができます。

- ロードマップ用に製品名を指定
[製品]リストから名前を選択します。製品は、アルファベット順に一覧表示されます。
- 日付範囲によるズームインまたはズームアウト
[タイムフレーム]オプションから日付範囲を選択します。ズームオプションのタイムフレームは、月次、四半期ごと、または年次です。
- [ナビゲーション]矢印をクリックして水平にスクロールします。
二重矢印を使用すると、前後のページに移動できます。単一の矢印を使用すると、現在選択されているタイムフレームに基づいて、時間単位ごとにスクロールされます。異なるタイムフレームを変更すると、時間単位も変更されます。
- リリースまたは要件と関連付けられたフィーチャーを表示または非表示にします。
[表示]オプションから、[フィーチャーを表示]または[フィーチャーを非表示]をクリックします。
- マスタリリース、リリース、およびフィーチャー用のオブジェクトを展開するか折りたたみます。
- オブジェクトの横の上向きまたは下向きの矢印をクリックして、子オブジェクト（子リリースまたは要件）のビューを展開または折りたたみます。
注: ロードマップには要件のバージョンが表示されますが、要件ドラフトは表示されません。
- オブジェクトをクリックして、詳細ページを表示します。

第 10 章: Chatter

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[フォローのオン/オフ切り替え \(P. 41\)](#)

[別のタイプの Chatter 情報を表示する方法 \(P. 42\)](#)

フォローのオン/オフ切り替え

Chatter を使用して、以下の Agile Vision または Product Vision 項目に関する情報をフォローできます。

- 製品
- リリース
- 要件
- 機能
- ソース
- ユーザストーリー
- タスク
- 問題

作成するアイテムでは、以下のオプションは既定で有効になっています。ユーザがアイテムの作成者でない場合、[フォロー]オプションが無効化されます。ただし、手動でアクティブにすることは可能です。

アイテムがフォローされているかどうかは、リスト ページの[フォロー]列で確認できます。

次の手順に従ってください:

1. 適切なリスト ページを開き、リスト内の特定のアイテムを見つけます。
2. リストアイテムの[フォロー]列で、以下のオプションのいずれかを実行します。
 - リストアイテムをフォローするには、[フォロー]という文字の左側にある緑のアイコンをクリックします。
 - リストアイテムの[フォロー]オプションをオフにするには、[フォロー]という文字の右側にあるアイコンをクリックします。

別のタイプの Chatter 情報を表示する方法

Chatter は Agile Vision と Product Vision のどちらでも利用可能です。これらの製品のどちらかに表示される Chatter 情報は、その製品にのみ関連します。製品は以下の Chatter 情報タイプをサポートします:

- [フォローするすべてのアイテムの Chatter を表示します。](#) (P. 42)
- [アイテムの Chatter アクティビティを表示します。](#) (P. 43)

フォローするすべてのアイテムの Chatter を表示します。

この[Chatter]ページには、Agile Vision または Product Vision のいずれかでユーザがフォローしているすべてのアイテムの統合アクティビティが一覧表示されます。

次の手順に従ってください:

1. 表示する Chatter 情報に応じて、[Product Vision]または[Agile Vision]メニューに移動します。
2. メニューが表示されたら、[概要]メニューから[Chatter]を選択します。

フォローしている項目の Chatter アクティビティの完全なリストが表示されます。

アイテムの Chatter アクティビティの表示

[Chatter フィールド]は、要件またはユーザストーリーなどアイテムの詳細ページから利用できます。Chatter アクティビティは選択されたアイテム専用です。

次の手順に従ってください:

1. アイテムの詳細ページ(Product Vision の特定の要件や Agile Vision の特定のスプリントなど)を開きます。
2. [表示]フィールドで、[Chatter フィールド]を選択します。
項目の Chatter アクティビティが表示されます。

付録 A: 用語集

カテゴリ

カテゴリは要件を分類する方法です。企業のニーズに特有の、組織の要件カテゴリを定義します。カテゴリの例には以下が含まれます。市場要件、技術要件、機能要件、および非機能要件。

競合他社

製品作成時に、製品が競合他社製品であることを示すことができます。自社で開発中の製品についてと同様の、競合他社製品の詳細情報を格納することができます。要件のソースとして競合製品を使用できます。

エピック

エピックは、製品の複数のリリースおよびスプリントにまたがる複数の子ユーザーストーリーの親コンテナとして機能します。エピックを要件にリンクして、トレーサビリティを提供し、計画プロセスに役立てることができます。

フィーチャー

フィーチャーは製品の一部です。フィーチャーは独立したスタンドアロンとして機能します。また、製品の他の部分と連動して機能することもできます。

ペルソナ

ペルソナは一人の人物、または多数の人物の複合物とすることができます。ユーザ、顧客、購入者、またはユーザが要件を作成させる原因となる他の誰かの記述です。要件をペルソナおよびソースにリンクして、トレーサビリティを提供し、計画プロセスに役立てることができます。

製品

会社が販売または社内での使用を目的として製造する、価値あるものを示します。製品は、商品または製品、ソフトウェア、構築プロジェクトまたは何らかの消費財である可能性があります。製品は、また IT 環境において、サービス、アプリケーションまたはシステムを表します。

製品オーナー

製品のプロパティで、製品オーナーとしてリスト表示されているスクラム チーム メンバ。

製品オーナーには、要件、リリース、スプリント、バックログ アイテムなど、製品に関連付けられているすべてのオブジェクトに対する権限があります。製品オーナーは、製品に関連付けられたユーザ ストーリーを使用する、スクラム チームメンバである必要はありません。

リリース

リリースはプロジェクト、つまり価値の配布で終了する工数に似ています。これらのリリースは、通常、多くのフィーチャーおよび要件を必要とします。

要件

要件は、特定の製品またはサービスがどのようなものであるか、また何が可能かを記述した文書化された仕様です。ユーザに価値を供給するように、製品またはサービスの必要な属性、機能、特製、または品質を定義するステートメントです。

ソース

ソースは、会社または組織である場合があります。ソースに関する情報を収集し、連絡先情報およびその他のマーケット情報を含めることができます。ソースを要件にリンクして、トレーサビリティとコンテキストを提供することができます。

トレーサビリティ

要件をその起源から実装の最低レベル(通常は、テスト ケースまたは作業項目)まで追跡する機能です。

ユーザ ストーリー

ユーザ ストーリーは Agile Vision 内で要件を定義する方法です。これらの製品と一緒に使用される場合、Product Vision の要件は、Agile Vision の関連付けられたユーザ ストーリーにリンクできます。